

合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン 新旧対照表

新) 第4版 2023年3月10日 策定	旧) 第3.1版 2022年1月24日 更新
<p>■ 2 ページ</p> <p>2. 感染拡大防止の基本的な考え方</p> <p>(1) 政府の考え方</p> <p>ア) 基本的対処方針では、新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策として「主に飛沫やエアロゾルによって感染し、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手をのばしたら手が届く距離での会話や発声が行われる）」という3つの条件（以下「三つの密」という）の回避、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗等の手指衛生、換気等を挙げています。</p> <p>■ 8 ページ</p> <p>(5) 合唱活動で考えられる新型コロナウイルスの感染リスクと対策の骨子</p> <p>10 休憩 <u>近い距離で会話する際にはマスクの着用を推奨する。</u> 飲食物の共有は行わない。</p> <p>11 会食 終了後に会食をする際は、<u>飲食時の感染対策を踏まえて行うこと。</u></p> <p>12 換気 常時換気のできない場合は、<u>1時間に2回以上、かつ、1回に5分以上の</u>休憩をとり、換気を行う。</p> <p>13 団員、指揮者、ピアノの配置 適切な距離をとり、<u>咳エチケットを実践する。</u></p> <p>14 発声指導、歌唱指導 団員と適切な距離をとる。</p>	<p>■ 2 ページ</p> <p>2. 感染拡大防止の基本的な考え方</p> <p>(1) 政府の考え方</p> <p>ア) 「基本的対処方針」では、新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策として「主に飛沫感染や接触感染によって感染し、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手をのばしたら手が届く距離での会話や発声が行われる）」という3つの条件（以下「三つの密」という）の回避、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗等の手指衛生、換気等を挙げています。</p> <p>■ 8 ページ</p> <p>(5) 合唱活動で考えられる新型コロナウイルスの感染リスクと対策の骨子</p> <p>13 休憩 <u>休憩時の会話は必要最小限とし、飲食物の共有は行わない。</u></p> <p>14 会食 終了後に会食をする際は、<u>国・自治体の制限に照らし合わせ、十分に注意すること。</u></p> <p>19 換気 常時換気のできない場合は、<u>30分に1回、5分以上の</u>休憩をとり、換気を行う。</p> <p>15 団員、指揮者、ピアノの配置 適切な距離をとり、<u>対面にならないような並び方を工夫する。</u></p> <p>18 発声指導、歌唱指導 <u>身体的接触のないよう注意し、団員と適切な</u></p>

<p>以下、第 3.1 版の項目を削除</p> <p>4 名簿管理</p> <p>1 1 ミーティング</p> <p>1 5 発声を伴わないウォーミングアップ等</p> <p>1 6 発声、歌唱</p> <p>■ 9 ページ</p> <p>4. 合唱練習時の新型コロナウイルス感染拡大防止策について</p> <p>なお、本ガイドラインにおける「マスク」とは、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の予防」の啓発資料による正しいマスクの着用（鼻と口の両方を隙間がないよう覆う、<u>基本的には不織布マスクとする</u>）に則った形状のものを呼びます。マウスシールド、下部の開放が広いマスクなど、隙間のある形状のものは該当しません。フェイスシールドについては的確な取り扱いを行わないと感染を拡大させてしまう危険があるので、合唱活動においての着用は推奨しません。</p> <p>(1) 利用施設</p> <p>ア) 屋内施設</p> <p>③機械換気が十分にされている。</p> <p>■ 10 ページ</p> <p>(2) 日常の健康管理等の対策</p> <p>第 3.1 版の ア) 名簿の管理 削除</p> <p>ア) 体調の管理</p> <p>④活動前 1 週間における以下の事項の有無を</p>	<p>距離をとる。</p> <p>■ 9 ページ</p> <p>4. 合唱練習時の新型コロナウイルス感染拡大防止策について</p> <p>なお、本ガイドラインにおける「マスク」とは、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の予防」の啓発資料による正しいマスクの着用（鼻と口の両方を隙間がないよう覆った）に則った形状のものをよびます。マウスシールド、下部の開放が広いマスクなど、隙間のある形状のものは該当しません。<u>また、変異株の拡大も踏まえ、品質の確かな、不織布マスクの使用が推奨されています。</u>フェイスシールドについては的確な取り扱いを行わないと感染を拡大させてしまう危険があり、<u>専門的知識のない方が扱うことは危険であるので、合唱活動においての着用は推奨しません。</u></p> <p>(1) 利用施設</p> <p>ア) 屋内施設</p> <p>③窓の開放が不可能である場合、<u>機械換気が十分にされている。</u></p> <p>■ 10 ページ</p> <p>(2) 日常の健康管理等の対策</p> <p>イ) 体調の管理</p> <p>④活動前 1 週間における以下の事項の有無</p>
--	--

確認し、該当する事項のある場合は、出席を停止すること。また、必要に応じ、抗原検査簡易キットやPCR検査を活用すること。

なお、65歳未満の重症化リスクの少ない者であって、症状が軽い又は無症状者は、自己検査結果を健康フォローアップセンター等に連絡し、医療機関の受診を待つことなく健康観察を受けることが可能である。

- a)平熱を超える発熱があった。
- b)咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状があった。
- c)新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった。
- d)政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があり政府所定の待機期間中である。

第3.1版の ウ) その他 削除

(3) 練習当日の対策

ア) 会場設営・撤収時

- ①会場内への椅子及び譜面台等備品の搬出入、設置は、あらかじめ時間と人員を設定し、多人数が互いに触れないようにして設営を行う。
- ②搬出入、設置の際は、十分な時間を設定し、感染対策を講じる。
- ③設営要員はマスクを着用し、咳エチケットを実践する。
- ④備品の設置後、消毒または清掃を行う。ピアノはアルコールを使用せず、専用のクリーナー等を使用する。

を確認し、該当する事項のある場合は、出席を停止すること。また必要に応じ、抗原検査簡易キットやPCR検査を活用すること。

- a)平熱を超える発熱があった。
- b)咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状があった。
- c)新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった。
- d)同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいた。
- e)過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触があった。

(3) 練習当日の対策

ア) 会場設営・撤収時

- ①会場内への椅子及び譜面台等備品の搬出入、設置は、予め時間と人員を設定し、手袋を着用する等、多人数が触れないようにして設営を行う。
- ②搬出入、設置の際は、十分な時間を設定し、感染防止対策を講じる。
- ③設営要員はマスクを着用し、咳エチケットを実践する。十分な距離(1m)を確保するか、同等の効果を有する対策をとる。
- ④椅子、備品の設置後、消毒を行う。ピアノの消毒の際はアルコールを使用せず、専用のクリーナー等を使用する。

<p>イ) 会場入場時</p> <p>④入場前に流水・石けんによる手洗いかアルコール手指衛生剤による手指の消毒を徹底する。 <u>(石けん・アルコール類が使えないときは流水による十分な手洗いで代用してもよい。)</u></p> <p>⑤会場内での飲食を行う場合は、<u>近接した距離</u>で向かい合っでの会話をしないなど十分に注意する。</p> <p>ウ) 練習時</p> <p>②マスクを着用せずに歌唱する場合、団員の距離は前後直線上に2m程度、左右は1m程度を確保する</p> <p>[14-2] この距離の確保が難しい場合は、マスクを着用すること。<u>また、その場合でも、密接を避けること。</u></p> <p>第3.1版の ⑤⑥⑦ 削除</p>	<p>イ) 会場入場時</p> <p>④入場前に流水石けんによる手洗いかアルコール手指衛生剤による手指の消毒を徹底する。</p> <p>⑤人との間隔を <u>1m</u> 離し、会話はなるべく控える。</p> <p>⑥楽譜やプリント類は手から手への配布を避け、<u>回覧はしない。</u></p> <p>⑦会場内での飲食を行う場合は、向かい合っでの会話をしないなど十分に注意する</p> <p>ウ) 練習時</p> <p>②マスクを着用せずに歌唱する場合、団員の距離は前後直線上に 2m 程度、左右は 1m 程度を確保し、<u>団員同士が向かい合う配置は避ける。</u></p> <p>[14-2]この距離の確保が難しい場合は、マスクを着用すること。</p>
<p>エ) 休憩時</p> <p>②<u>近い距離で会話をする際にはマスクの着用を推奨する。</u></p> <p>オ) 練習後</p> <p>①流水・石けんによる手洗いかアルコール手指衛生剤による手指の消毒を徹底する。 (石けん・アルコール類が使えないときは流水による十分な手洗いで代用してもよい)</p> <p>②退場時に密集しないよう、できるだけ分散退場策を講じる。</p> <p>③マスクを着用し、咳エチケットを実践する。</p> <p>④終了後に会食をする際は、<u>飲食時の感染対策を踏まえて行うこと。</u></p>	<p>エ) 休憩時</p> <p>②<u>人との間隔を 1m 離し、会話はなるべく控える。やむを得ず会話をする際にはマスクを必ず着用する。</u></p> <p>オ) 練習後</p> <p>①流水石けんによる手洗いかアルコール手指衛生剤による手指の消毒を徹底する。</p> <p>②<u>出席者をチェックし、名前を控えておく。</u></p> <p>③退場時に密集しないよう、できるだけ分散退場策を講じる。</p> <p>④マスクを着用し、咳エチケットを実践する。</p> <p>⑤<u>連絡やミーティングは可能な限りオンライン等の対面によらない方法で行う。オンラインで実施することが難しい場合は、人との間隔を 1m 離し、少人数・短時間で</u></p>

<p>(4) 緊急時の対応</p> <p>エ) 練習後日も含め、感染が発覚した場合、<u>必要に応じて</u>保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を速やかに行えるよう体制を整える。</p> <p><u>なお、65歳未満の重症化リスクの少ない者であって、症状が軽い又は無症状者は、自己検査結果を健康フォローアップセンター等に連絡し、医療機関の受診を待つことなく健康観察を受けることが可能である。</u></p> <p>■ 12 ページ</p> <p>5. 合唱公演時の新型コロナウイルス感染拡大防止策について</p> <p>基本的対処方針によれば、「催物の開催に当たっては、業種別ガイドラインの徹底や催物前後の「三つの密」及び飲食を回避するための方策を徹底する」とされています。</p> <p>また、政府の公式見解となっている「新しい生活様式」では、基本的感染対策として「人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける」とこととされていますが、<u>「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」</u>においては、密が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔）を空けるという目安が示され、施設の収容率や人数上限、感染防止策と感染防止のチェックリストが提示されています。これらを十分に理解した上で、公演を開催するなどの対策が必須です。</p> <p>したがって、合唱公演の企画・開催に当たって</p>	<p>行う。</p> <p><u>⑥終了後に会食をする際は、国・自治体の制限に照らし合わせ、十分に注意すること</u></p> <p>(4) 緊急時の対応</p> <p>エ) 練習後日も含め、感染が発覚した場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を速やかに行えるよう体制を整える。</p> <p>■ 13 ページ</p> <p>5. 合唱公演時の新型コロナウイルス感染拡大防止策について</p> <p>「基本的対処方針」によれば、「催物の開催に当たっては、業種別ガイドラインの徹底や催物前後の「三つの密」及び飲食を回避するための方策を徹底する」とされています。</p> <p>また、政府の公式見解となっている「新しい生活様式」では、基本的感染対策として「人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける」とこととされていますが、<u>「催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項」</u>においては、<u>大声での歓声、声援等がないことを前提とする催物では、感染防止策の徹底を前提に、収容定員までの参加人数が可能とされ、あわせて、密が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔）を空ける</u>という目安が示され、施設の収容率や人数上限、感染防止策と感染防止のチェックリストが提示されています。これらを十分に理解した上で、公演を開催するなどの対策が必須です。</p> <p>従って、合唱公演の企画・開催にあたっては、</p>
---	---

は、必ず「基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」の本文と別紙を確認の上、どのような感染拡大防止策を講じなければいけないか、注意すべき事項等を、理解し開催することが大切です。また、公演の実施に際しては、あらかじめ業種別ガイドラインや、各施設の貸出方針を参照し、どのような形態で実施するのが適切なのかを十分検討の上、利用施設との十分な協議を行い、出演者やスタッフ、来場者等への感染拡大防止策を徹底して実施することが重要です。

なお、本ガイドラインにおける「マスク」とは、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の予防」の啓発資料による正しいマスクの着用（鼻と口の両方を隙間がないよう覆う、基本的には不織布マスクとする）に則った形状のものを呼びます。マウスシールド、下部の開放が広いマスクなど、隙間のある形状のものは該当しません。フェイスシールドについては的確な取り扱いを行わないと感染を拡大させてしまう危険があるので、合唱活動における着用は推奨しません。

（1）企画・準備段階における対策

①1週間以内に以下に該当する事項のある場合は来場を自粛する。

また、来場時に検温を行い、平熱を超える発熱がある場合は入場できない。

- a)平熱を超える発熱があった。
- b)咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状があった。
- c)新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった。

必ず「催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項について」の本文と別紙を確認の上、どのような感染拡大防止策を講じなければいけないか、注意すべき事項等を、理解し開催することが大切です。また、公演の実施に際しては、予め業種別ガイドラインや、各施設の貸出方針を参照し、どのような形態で実施するのが適切なのかを十分検討のうえ、利用施設との十分な協議を行い、出演者やスタッフ、来場者等への感染拡大防止策を徹底して実施することが重要です。

なお、本ガイドラインにおける「マスク」とは、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の予防」の啓発資料による正しいマスクの着用（鼻と口の両方を隙間がないよう覆った）に則った形状のものをよびます。マウスシールド、下部の開放が広いマスクなど、隙間のある形状のものは該当しません。また、変異株の拡大も踏まえ、品質の確かな、不織布マスクの使用が推奨されています。フェイスシールドについては的確な取り扱いを行わないと感染を拡大させてしまう危険があり、専門的知識のない方が扱うことは危険であるので、合唱活動における着用は推奨しません。

（1）企画・準備段階における対策

①氏名及び緊急連絡先の把握に努め、感染が疑われる人が出た場合には保健所等の公的機関に提供する。

②1週間以内に以下に該当する事項のある場合は来場しない。

また、来場時に検温を行い、平熱を超える発熱がある場合は入場できない。

- a)平熱を超える発熱があった。
- b)咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
- c)新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった。
- d)同居家族や身近な知人に感染が疑われる者

<p>d)政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があり政府所定の待機期間中である。</p> <p>②会場では、人と人が触れ合わない程度の距離を確保すること。</p> <p>③会場では、必要に応じてマスクを着用し、咳エチケットを実践する。</p> <p>④流水・石けんによる手洗いかアルコール手指衛生剤による手指の消毒を徹底する。<u>（石けん・アルコール類が使えないときは流水による十分な手洗いで代用してもよい）</u></p> <p>（2）公演当日の対策</p> <p>ア）リハーサル・舞台</p> <p>[18-2] この距離の確保が難しい場合は、マスクを着用すること。<u>また、その場合でも、密接を避けること。</u></p> <p>イ）控室・楽屋</p> <p>④飲食の際は、<u>近接した距離で向かい合っでの会話をしないなど十分に注意する。</u></p> <p>ウ）公演会場への入退場</p> <p>①スタッフは<u>正しいマスクの着用を推奨する。</u></p> <p>②来場者に公演会場においては<u>マスクの着用を推奨する。</u></p>	<p>がいた。</p> <p>e) 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触があった。</p> <p>③厚生労働省がインストールをよびかけている「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」や、地方公共団体の接触確認システムを活用する。（携帯電話の使用を控える場面では、接触確認アプリ（COCOA）を機能させるため、電源及び Bluetooth を on にした上で、マナーモードにすることが推奨される。）</p> <p>④会場では、人との間隔を 1m 離し、会話はなるべく控える。</p> <p>⑤会場では、必要に応じてマスクを着用し、咳エチケットを実践する。</p> <p>⑥流水石けんによる手洗いかアルコール手指衛生剤による手指の消毒を徹底する。</p> <p>（2）公演当日の対策</p> <p>ア）リハーサル・舞台</p> <p>[18-2] この距離の確保が難しい場合は、マスクを着用すること。</p> <p>イ）控室・楽屋</p> <p>④飲食の際は、<u>適切な距離をとるか、アクリル板を設置して行い、飲食中の会話は控える。</u></p> <p>ウ）公演会場への入退場</p> <p>①スタッフは<u>マスクの着用を徹底する。</u></p> <p>②来場者に公演会場においては<u>常時マスクの正しい着用を求め、不携帯者用として配布（販売）できるマスクを用意しておく。</u></p> <p>⑥チケット半券のもぎりは接触を避けるよう対応する。</p> <p>⑦パンフレットやチラシの授受は、<u>不特定多数による接触を避けるよう対応する。来場者が自由に取得できるような設置は不特定多数</u></p>
--	--

<p>⑥流水・石けんによる手洗いかアルコール手指衛生剤による手指の消毒を必ず行うよう周知する。<u>(石けん・アルコール類が使えないときは流水による十分な手洗いで代用してもよい)</u></p> <p>⑦ロビーやホワイエでは<u>人と人が触れ合わない程度の距離を確保する。</u></p> <p>⑫終演後の会食をする際は、<u>飲食時の感染対策を踏まえて行うこと。</u></p>	<p>による接触が予想されるため、手指消毒を徹底したスタッフによる配布が望ましいが、<u>施設の方針を参照し事前に調整を行うこと。</u></p> <p>⑧流水石けんによる手洗いかアルコール手指衛生剤による手指の消毒を必ず行うよう周知する。</p> <p>⑨ロビーやホワイエでは<u>人との間隔をとり、会話はなるべく控えるよう周知する。</u></p> <p>⑩面会やプレゼントの授受など、出演者と来場者の接触は極力控える。</p> <p>⑮終演後の会食をする際は、<u>国・自治体の制限に照らし合わせ、十分に注意するよう促すこと。</u></p> <p>⑯来場者に対して接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードや各地域通知サービスの活用を呼びかける。</p>
<p>エ) 客席</p> <p>①歌い手から客席までの距離は最低 2m を確保する。</p>	<p>エ) 客席</p> <p>①感染が発覚した場合に備え、入場者の座った席が明確になるよう席の指定が推奨される。</p> <p>②歌い手から客席までの距離は最低 2m を確保する。</p> <p>③客席での大声での歓声や声援等を伴わない場合は収容率 100%以内とすることができるが、歓声・声援等を発することが想定される場合は収容率 50%以内で 1m 程度の距離を確保できる客席の配置とする。</p> <p>④50%を超える収容率で公演を開催する場合、ブラボー等の大声での声援を行わないよう周知する。</p> <p>⑤客席での飲食はしないよう周知する。</p>
<p>オ) 休憩</p> <p>②ロビーやホワイエでは人との適切な距離を保つよう周知する。<u>近い距離で会話をする際にはマスクの着用を推奨する。</u></p> <p>③ロビーやホワイエでの飲食をする際は、<u>近接した距離で向かい合っでの会話をしないよう周知する。</u></p>	<p>オ) 休憩</p> <p>②ロビーやホワイエでは人との間隔をとり、マスク着用の上、<u>会話はなるべく控えるよう周知する。</u></p> <p>③ロビーやホワイエでの飲食は、<u>距離の確保、パーティションの設置など感染防止策を行ったエリア以外ではしないよう周知する。</u>また飲食の共有、飲食中の会話を控えるよう周知する。</p>

<p>カ) 公演終了後</p> <p>公演終了後に会食をする際は、<u>飲食時の感染対策を踏まえて行うこと。</u></p> <p>(3) 公演後の対策</p> <p>来場者、出演者、スタッフなど公演への出席者に感染が疑われる人が出た場合、<u>必要に応じて</u>、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を速やかに行う。</p> <p><u>なお、65歳未満の重症化リスクの少ない者であって、症状が軽い又は無症状者は、自己検査結果を健康フォローアップセンター等に連絡し、医療機関の受診を待つことなく健康観察を受けることが可能である。</u></p> <p>■ 17 ページ</p> <p>7. おわりに</p> <p>しかし、合唱活動には、新型コロナウイルス感染症の感染やクラスター発生のリスクが存在します。そのため、合唱活動を起因とする感染拡大やクラスターが発生することのないよう、常に合唱団関係者、スタッフ、来場者の安全と感染拡大防止を最優先として、慎重に判断し活動いただくようお願いいたします。また、各人の意思を尊重し活動への参加や<u>マスクの着脱</u>を強制しないこと、家族等の理解や同意を得ることなどにも御留意ください。</p>	<p>カ) 公演終了後</p> <p><u>①関係者等による打ち上げは控えるなど、密の回避と飛沫感染や接触感染を避ける方策をとる。</u></p> <p><u>②終演後に会食をする際は、国・自治体の制限に照らし合わせ、十分に注意すること。</u></p> <p>(3) 公演後の対策</p> <p>来場者、出演者、スタッフなど公演への出席者に感染が疑われる人が出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を速やかに行う。</p> <p>■ 17 ページ</p> <p>7. おわりに</p> <p>しかし、合唱活動には、新型コロナウイルス感染症の感染やクラスター発生のリスクが存在します。そのため、合唱活動を起因とする感染拡大やクラスターが発生することのないよう、常に合唱団関係者、スタッフ、来場者の安全と感染拡大防止を最優先として、慎重に判断し活動いただくようお願いいたします。また、各人の意思を尊重し活動への参加を強制しないこと、家族等の理解や同意を得ることなどにもご留意ください。</p>
---	--